

平成30年度

シラバス

青翔開智中学校

第3学年

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
国語	現代文	3	中学3年	必修

科目の目標	国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。				
学習内容の概要	話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと的能力を育成するための事項について指導する。なお、授業冒頭には読解、漢字の小テストをそれぞれ週1回程度実施する。				
評価の観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解・技能
	国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重しようとしているか。	目的や場面に応じ、社会生活にかかわることなどについて相手や場に応じて話す能力、表現の工夫を評価して聞く能力、課題の解決に向けて話し合う能力を身に付けるとともに、話し合いを深めようとしているか。	目的や意図に応じ、社会生活にかかわることなどについて、論理の展開を工夫して書く能力を身に付けるとともに、文章を書いて考えを深めようとしているか。	目的や意図に応じ、文章の展開や表現の仕方などを評価しながら読む能力を身に付けるとともに、読書を通して自己を向上させようとしているか。	伝統的な言語文化に親しみ、言葉の特徴やきまりや漢字などを理解するとともに、身の回りの文字に関心を持ち、効果的に文字を使用しているか。
評価の方法	定期考査	70%	授業態度等	30%	
教科書・教材等	現代の国語3(三省堂)、現代の国語完全準拠ワークブック(三省堂)、標準新演習中3国語(エデュケーションネットワーク)、新明解国語辞典(三省堂)、プリント、視聴覚教材				
授業形態	習熟度別				

年間学習計画											
学期	月	単元	学習内容	時数	プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点		
1学期	4	「水のようなひと」	読む(韻文)	8							
	5	「間の文化」	読む(説明的文章)	6							
		「握手」	読む(文学的文章)	9							
	6	「俳句の世界」「俳句十句」	読む(韻文)	5					○		
	7	ピブリオバトル	話す・聞く		9		○			○	
読書感想文											
2学期	8	「花や咲く咲く」	読む(文学的文章)	9							
	9										
	10	「フロン規制の物語」	読む(説明的文章)	12		○				○	
		企画会議									
	11	「情報社会を生きる」	話す・聞く		9						
		批評文									
12	「初恋」	書く		9							
	「故郷」										
3学期	1	読む(文学的文章)	12								
		「『文殊の知恵』の時代」									
	2	読む(説明的文章)	9							○	
		話す・聞く									
3	読む(文学的文章)	9								○	
	書く										

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
国語	古典	2	中学3年	必修

科目の目標	国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。				
学習内容の概要	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項について指導する。なお、授業冒頭には百人一首の小テストを定期的実施する。				
評価の観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解・技能
	国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重しようとしているか。	目的や場面に応じ、日常生活にかかわることなどについて構成を工夫して話す能力、話し手の意図を考えながら聞く能力、話題や方向をとらえて話し合う能力を身に付けるとともに、話したり聞いたりして考えをまとめようとしているか。	目的や意図に応じ、日常生活にかかわることなどについて、構成を考えて的確に書く能力を身に付けるとともに、進んで文章を書いて考えをまとめようとしているか。	目的や意図に応じ、様々な本や文章などを読み、内容や要旨を的確にとらえる能力を身に付けるとともに、読書を通してもの見方や考え方を広げようとしているか。	伝統的な言語文化にふれ、言葉の特徴やきまりや漢字などについて理解するとともに、漢字の行書の基礎的な書き方を理解して使用しているか。
評価の方法	定期考査	70%	授業態度等	30%	
教科書・教材等	現代の国語3(三省堂)、原色シグマ国語便覧(文英堂)、古語辞典(指定なし)、プリント				
授業形態	習熟度別				

年間学習計画									
学期	月	単元	学習内容	時数	プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点
1学期	4	慣用句・ことわざ・四字熟語	漢字	24				○	
		和語・漢語・外来語							
	5	敬語の機能と敬意表現	言葉の特徴やきまり						
		ことばの現在・過去・未来							
	6	百人一首(001～025)	伝統的な言語文化						
		和歌の世界	伝統的な言語文化						
7	百人一首(026～050)	伝統的な言語文化							
2学期	8	おくのほそ道	伝統的な言語文化	26				○	
	9								
	10	百人一首(051～075)	伝統的な言語文化						
	11	論語	伝統的な言語文化						
		百人一首(076～100)	伝統的な言語文化						
	12	書写	書写						
3学期	1	古典文法	高校古典の範囲を学習する	20					
	2								
	3								

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
公民	公民	4	中学3年	必修

科目の目標	広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察する力を付ける。			
学習内容の概要	現代の世界や日本の情勢について、様々な資料や統計をもとにして、現代社会のもつ機能と課題を多面的・多角的に考察し、社会への関心を高めていく。			
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
	現代社会に対する関心を高め、積極的に追求しながら、世界の中の日本人としての自覚と責任を考えることができる。	現代社会における文化の意義や影響について相互の関連を多角的に考察し、社会の変化に対応できる思考力を持つ。	写真や各種統計資料から、情報を適切に選択して活用し、追求した過程や結果を適切に表現できる。	現代社会をとらえる見方や考え方の基礎として、対立と合意、効率と公正などの見方や考え方があることに気付き、それらを理解している。
評価の方法	定期考査	70%	授業態度等	30%
教科書・教材等	新しい公民(東京書籍)			
授業形態	一斉			

年間学習計画									
学期	月	単元	学習内容	時数	プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点
1	4	現代の日本と世界	戦後日本の発展と国際社会	6					
			新たな時代の日本と世界	7					
	5	現代社会と私たちの生活	現代社会の特色と私たち	7					
	6		私たちの生活と文化	6					
7	現代社会の見方や考え方		6						
2	8	個人の尊重と日本国憲法	選挙制度について学ぶ①	3					
	9		選挙制度について学ぶ②	3					
	10		人権と日本国憲法	7					
	11		人権と共生社会	6					
	12		これからの人権保障	6					
3	1	現代の民主政治と社会	現代の民主政治	6					
	2		国の政治の仕組み	6					
	3		地方自治と私たち	6					
	1	私たちの暮らしと経済	消費生活と経済	6					
	2		生産と労働	6					
3	地球社会と私たち	国際社会の仕組み	6						
			さまざまな国際問題と日本	6					

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
数学	数式・関数	3	中学3年	必修

科目の目標	文字を含んだ計算やともなって変化する数量について学ぶことで、数や数量関係に関する抽象的な概念を身につけ、物事をより一般的に捉える力を習得する。							
学習内容の概要	「数と式」では式の展開や因数分解、多項式の除去、分数式の計算などを行う。「2次関数とグラフ」では、2次関数とそのグラフについて理解し、グラフを用いて様々な事象を考察する。「三角比」では、直角三角形の3辺の長さの比を用いて事象を考察する意識を学ぶ。							
評価の観点	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解				
	様々な事象を数量で捉え、その性質や関係を見出すなど、数学的に考え表現することができる。	数量関係についての基礎的な知識を活用しながら、見通しを持って事象を考察したり表現したりすることができる。	数と式、2次関数、三角比において、事象を数学的に表現・処置する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	2次関数や三角比などの必要性と意味を理解し、それらを用いて事象を表現するための知識を身に付けている。				
評価の方法	定期考査	70%	小テスト	10%	提出物	10%	授業態度	10%
教科書・教材等	中学校 数学3(数研出版) 体系数学3 数式・関数編(数研出版) 体系問題集3 数式・関数編(数研出版)							
授業形態	習熟度別2クラス編成							

年間学習計画									
学期	月	単元	学習内容	時数	プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点
1	4	第1章 数と式	3次以上の多項式を因数分解したり多項式の除去、分数式の計算等を学ぶ。また、数を実数まで拡張する意識や集合と命題に関する基本的な概念を理解する。 ・式の計算 ・実数 ・1次不等式	30	○				
	5								
	6								
2	7	第2章 複素数と方程式	・複素数と2次方程式の解 ・高次方程式	27	○				
	8								
	9								
2	10	第3章 2次関数	2次関数とそのグラフについて理解し、2次関数を用いて数量の関係や変化を表現することの有用性を認識する。さらに、それらを事象の考察に活用できるようにする。 ・2次関数とグラフ ・2次方程式と2次不等式	30	○				
	11								
	12								
3	1	第4章 図形と式	・点と直線 ・円 ・軌跡と領域	30	○				
	2								
	3								

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
数学	論理・確率	2	中学3年	必修

科目の目標	集合の考え方をを用いて命題の真偽を考察したり、事象の起こりうる確率を求めたりすることを通して物事を論理的に捉える力を養う。							
学習内容の概要	「集合と論理」では集合の関係を用いて命題について考察する。「確率」では、2年次に学習した内容について理解を深める。「データの分析」ではコンピュータを用いてデータを分析する方法を学ぶ。							
評価の観点	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解				
	様々な事象を数量で捉え、その性質や関係を見出すなど、数学的に考え表現することができる。	数量関係についての基礎的な知識を活用しながら、見通しを持って事象を考察したり表現したりすることができる。	集合と論理、確率、データの分析、整数の性質において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	集合や確率などの意味を理解し、それらを用いて事象を表現するための知識を身に付けている。				
評価の方法	定期考査	70%	小テスト	10%	提出物	10%	授業態度	10%
教科書・教材等	中学校 数学3（数研出版） 体系数学3 論理・確率編（数研出版） 体系問題集3 論理・確率（数研出版）							
授業形態	習熟度別2クラス編成							

年間学習計画									
学期	月	単元	学習内容	時数	プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点
1	4	第1章 集合と論理	条件を満たすものを集合の要素としてとらえ、2つ以上の集合の関係を用いて命題の真偽を考察する。 ・集合 ・命題と集合 ・命題と証明 ・集合の要素の個数	20					
	5								
	6								
2	7	第2章 確率	場合の数を求めるときの基本的な考え方や確率についての理解を深め、様々な事象の考察に活用できるようにする。 ・場合の数 ・順列 ・組み合わせ ・二項定理 ・試行と事象 ・独立な試行の確率 ・条件付き確率 ・事象の独立と従属 ・期待値	24					
	8								
	9								
	10								
	11								
3	12	第3章 データの分析	統計の基本的な考えを理解し、それを用いてデータを整理・分析し傾向を把握できるようにする。 ・データの代表値 ・データの散らばりと四分位範囲 ・分散と標準偏差 ・データの相関 ・表計算ソフトによるデータの分析	20	○			○	
	1								
	2								
3	3	第4章 式と証明	整式の乗法・除法及び分数式の四則計算について理解できるようにするとともに、等式や不等式が成り立つことを証明できるようにする。	14					
	3								

教科名	科目名	時間数	対象学年	履修形態
理科	科学	4	中学3年	必修

科目の目標	目的意識を持って観察・実験・調査・発表を行い、科学的に探究する能力の基礎と態度を育てる。自然の事物・現象についての知識・理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。			
学習内容の概要	生物分野:生命の連続性 地学分野:宇宙の中の地球 化学分野:化学変化とイオン 物理分野:運動とエネルギー			
評価の観点	関心・意欲・態度	判断・思考	観察・実験の技能・表現	知識・理解
	自然科学の事物・現象に関心・探究心を持ち、意欲的に解決する態度を身につけようとする。	自然科学の事物・現象に問題を見だし、事象を科学的に考え、判断できる。	自然科学の事象・現象を科学的に探究する方法を身につけ、過程や結果を的確に表現できる。	自然科学に関する事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、身につけている。
評価の方法	定期テスト 70% 意欲・提出物等 30%			
教科書・教材等	啓林館 『未来へひろがるサイエンス3』			
授業形態	一斉			

年間学習計画									
学期	月	単元	学習内容	時数	プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点
1	4	ガイダンス(生命分野)		2					○
		細胞	生物の成長と細胞分裂						
	5	生殖と発生	無性生殖,有性生殖	20					
		遺伝	遺伝の規則性						
	6	ガイダンス(地球分野)	太陽系の惑星と星座						
		天体と運動	天体の1日の動きと地球の自転,天体の1年の動きと地球の公転,季節の変化	26					
7	地球と宇宙	太陽と月,惑星・恒星と太陽系							
	ガイダンス(物質分野)								
2	8	化学変化とイオン	電解質と非電解質とイオン, 電気分解・電池とイオン	26					
			酸・アルカリとイオン, 中和とイオン, 中和計算演習						
	9	ガイダンス(エネルギー分野)							
	10	力と運動	力のつりあい,力がはたらく物体の運動,力がはたらかない物体の運動	26					
			仕事と仕事率,力学的エネルギーとその移り変わり,運動とエネルギーの計算演習						
11	自然と人間	自然のなかの生物どうしのつながり,自然界の生物とそのはたらき・物質の循環	24						
		自然環境の調査と環境保全							
12		自然環境の保全と科学技術の利用,自然の恵みと災害							
3	1 2 3	中学校総まとめ	中学1年生	20					
			中学2年生						
			中学3年生						

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
音楽	音楽	1	中学3年	必修

科目の目標	リズムや旋律・ハーモニーなど、音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す曲想や良さを感じ取って、生き生きと表現活動を行うこと。			
学習内容の概要	一人ひとりの音楽に対する関心の違いや知識の差を個性として認めつつ、様々な時代の音楽の様式に触れながら、その楽曲を形づくっている諸要素や良さを感じ、関心や意欲を高め、表現の工夫を深める。			
評価の観点	関心・意欲・態度	音楽的な甘受と表現の工夫	表現の技能	鑑賞の能力
	①音楽への興味関心が授業に積極的に取り組む態度となっている。 ②グループで協力し合い、協調性を持って取り組む姿勢を持っている。	①曲の持っている良さや特質に関心を持ち、自己のイメージを生かして表現している。 ②曲想に相応しい実現を工夫し、演奏表現に生かしている。	①歌唱に於いて発声や言葉の意味を知覚し表現している。 ②器楽において演奏技術の習得や音色の工夫に励んでいる。	①曲の持っている情景や心情を感じ取り、味わいながら聴いている。 ②作曲の背景や作風・演奏構成・作品を構成する諸要素を知覚し、理解を深めている。
評価の方法	定期考査 60%	実技テスト 25%	授業態度 15%	
教科書・教材等	中学生の音楽2・3(教育芸術社)、中学生の器楽(教育芸術社)、アルトリコーダー			
授業形態	一斉			

年間学習計画									
学期	月	単元	学習内容	時数	プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点
1	4	○花の街	拍の流れによって明るい声で歌う。	6					
	5	○「レクイエム」から(涙の日) ○エチュードハ短調「革命」	曲の構成、曲想の変化を学ぶ。						
	6	○カノン2 (リコーダー合奏)	曲の良さやまとまりを感じ取って表現する。	5					
	7	○ラヴァーズコンツェルト (リコーダー合奏)	曲のまとまりやハーモニーの変化を感じ取って、演奏や合唱をする。	3	○			○	
2	8								
	9	○フィランディア ○組曲「展覧会の絵」	フレーズの特徴を生かした表現を工夫する。 作曲の背景や作風・演奏構成を学ぶ。	4					
	10	○時の旅人 ○サンタルチア	パートの役割や旋律の重なりの特徴を感じる。	4				○	
	11	○アカペラ合唱曲 ○平調「越天楽」	旋律の重なり方の変化を味わって合唱する。 作品の背景やそれをかたちづくっている諸要素について学ぶ。	4					
	12	○プルトバ(モルダウ)	作曲の背景や作風・演奏構成を学ぶ。	3				○	
3	1	○アニーローリー (リコーダー演奏)	曲の良さやまとまりを感じ取って表現する	4					
	2	○ワークシート・音楽の基礎知識	音楽用語・記号の読み方や意味を理解する。	5					
	3	○天使にラブソングを2	DVD鑑賞を通して、ミュージカルの構成や良さを感じとる。						

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
技術	技術	1	中学3年	必修

科目の目標	生物育成、エネルギー変換分野の課題解決をとおし、企画、設計、制作、批評する力を育成する。工夫して想像することの大切さを感じ、技術的なものを見方を身につける。			
学習内容の概要	課題解決のテーマ(前半:生物育成、後半:エネルギー変換)を設定し企画から設計、制作を行う。全行程にデザイン思考を導入し課題解決型の木工制作を行う。関係者を招いた制作発表会をひらき、外部評価をうけ、さらに他者の制作物への批評を行う。			
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断	技能	知識理解
	生物育成、エネルギー変換に関する技術について関心をもっている。	生物育成、エネルギー変換に関する技術を適切に評価し活用できるか。	目的や条件に応じて、生物育成、エネルギー変換の技術を適切に選択し、活用できている。	生物育成、エネルギー変換に関する技術と、社会や環境とのかかわりについて理解している。
評価の方法	ポートフォリオ	成果物	発表	
教科書・教材等	技術・家庭(技術分野) (開隆堂)			
授業形態	一斉			

年間学習計画									
学期	月	単元	学習内容	時数	プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点
1	4	フィールドワーク(企画) ディスカッション(企画)	エネルギー変換に関するテーマのもと、〇〇へフィールドワークへでかけ現地調査を行う。学内にて持ち帰った情報をもとにディスカッションを行う。	3	○		○		
	5			4					
	6	プレインストーミング(設計) 設計図作成(材料・設計) プロトタイプ 製作	プレインストーミングでアイデアだしを行い、設計図の作成を行う。用途を考えながら設計を行う。	3					
	7			3					
2	8	発表	フィールドワーク先の担当者や有識者をまえに発表をおこなう。	0					
	9			4					
	10			フィールドワーク(企画) ディスカッション(企画)	生物育成に関するテーマのもと、〇〇へフィールドワークへでかけ現地調査を行う。学内にて持ち帰った情報をもとにディスカッションを行う。	4			
	11					3			
12		4							
3	1	プレインストーミング(設計) 設計図作成(材料・設計) プロトタイプ 製作	プレインストーミングでアイデアだしを行い、設計図の作成を行う。用途を考えながら設計を行う。	3					
	2			4					
	3	発表	フィールドワーク先の担当者や有識者をまえに発表をおこなう。	3	○				

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
家庭	家庭	1	中学3年	必須

科目の目標	実践的、体験的な活動を通して、生活をより良くしようとする主体的な態度を育てる。			
学習内容の概要	家族と家庭では、乳幼児の体や心の発達の学習を通して幼児との関わり方の理解や年齢に適したおもちゃ製作をする。幼児とのふれあい体験では、保育実習で自分への課題を持ち、幼い子への理解を深める。また住生活については住まいのはたらきや住空間の使い方を考え、快適な住まいについて学習する。			
評価の観点	関心・意欲	創意工夫	技能	知識理解
	授業の準備、態度、忘れ物有無、ノート整理、課題提出物の状況、自主的な発表	読み聞かせや接し方、また班活動での取り組みの工夫 作品への工夫	幼児の発達や年齢に留意した遊びの製作、また接し方 工具・用具の正しい使い方、作品完成度	授業中の応答、定期テスト
評価の方法	定期考査	60%	授業態度等	40%
教科書・教材等	「技術・家庭 家庭分野」 開隆堂出版			
授業形態	一斉			

年間学習計画									
学期	月	単元	学習内容	時数	プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点
1 学期	4	住生活 快適に住まう	住まいのはたらき	1					
	5	〃	住まいの空間と使い方	4					
	6	〃	住まいの安全対策、災害への備え	1					
	7	家族と家庭 幼児の生活と遊び	幼児期について	2					
			幼児の心と体の発達	3					
2 学期	8		子どもの成長と家族の役割	3					
	9	〃							
	10	〃	幼児と遊ぶおもちゃ作り	3					
			絵本の読み聞かせ講座	2					
	12	幼児とのふれ合い	ふれ合い体験	2					
			幼児のおやつ作り	2					
	1	衣生活 生活を豊かにする物を作る	トートバッグを作ろう・ミシン	12					
2	〃	(裁断・しるし付け)～(本縫い)							
3	〃	(仕上げ)							

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
美術	美術	1	中学3年	必修

科目の目標	美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。							
学習内容の概要	表現・造形の基礎となる観察力を深め、形体や空間などの的確な表現力を身につけ更に個性的な表現方法を学ぶ。生活の中にあるデザインに気づきその重要性を知る。ポスターの制作を通してメッセージを伝える方法を学ぶ。 鑑賞・様々な視点から作品を見る方法を学び、作者の心情を読み解く力を養う。自然と美術との関わり、生活や社会を心豊かにする美術の働きについて考え、理解を深める。日本の美術の歴史や特質、日本及び諸外国の美術文化について理解を深める。							
評価の観点	関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力				
	主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組み、その喜びを味わい美術を愛好していこうとする。	感性や想像力を働かせて感じ取ったことや考えたことなどを基に、豊かに発想し、よさや美しさなどを考え、心豊かで創造的な表現の構想をする。	感性や造形感覚などを働かせて、表現の技能を身に付け、意図に応じて表現方法などを創意工夫し、創造的に表している。	美術作品や文化遺産などに親しみ、感性や想像力を働かせてよさや美しさなどを感知取り味わったり、理解したりする。				
評価の方法	定期考査	50%	発想・構想	20%	技能	20%	授業態度	10%
教科書、教材	美術(日本文教出版)、スケッチブック							
授業形態	一斉							

年間学習計画									
学期	月	題材	学習内容	時数	プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点
1	4	ガイダンス 公共ポスターをつくる	・ポスターの目的・機能・製作手順について理解する。	31					
	5								
	6								
	7								
	8								
2	9	対話型鑑賞	・話し合いながら世界の名画を深く鑑賞する。	8					
	10	遠近法	・遠近法を理解し、図に表し着色する。	31					
	11								
	12								
3	1	遠近法	・遠近法を理解し、図に表し着色する。	31					
	2								
	3								

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
保健体育	保健体育	3	中学3年	必修
科目の目標	①運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにするとともに、知識や技能を身に付け、運動を豊かに実践することができるようにする。 ②運動を適切に行うことによって、体力を高め、心身の調和的発達を図る。 ③運動における競争や協同の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たすなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を育てる。			
学習内容の概要	体育分野の内容は、運動に関する領域及び知識に関する領域で構成されている。運動に関する領域は、「体づくり運動」、「器械運動」、「陸上競技」、「球技」、「武道」及び「ダンス」であり、知識に関する領域は、「体育理論」である。また、能率的で安全な集団としての行動の仕方(集団行動)を各領域において適切に行う。			
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断	技能	知識・理解
	自ら進んで運動の楽しさや喜びを体得しようとする。また、健康・安全に留意して運動をしようとする。	運動の特性に応じて、自己やグループの能力に適した課題の解決を目指して、活動の仕方を考え、工夫している。	自己の能力に適した課題の解決を目指して運動を行うとともに、運動の特性に応じた技能を身に付けている。	運動の特性と学び方、安全の確保の仕方、運動の心身にわたる効果に関する基礎的な事項を理解し、知識を身に付けている。
評価の方法	30 %	10 %	30 %	30 %
教科書・教材等	保健体育(大修館)			
授業形態	男女別			

年間学習計画									
学期	月	題材	学習内容	時数	プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点
1	4	体づくり運動	オリエンテーション、軽スポーツ、集団行動、補強運動、新体力テスト	9					
	5	球技 陸上競技 [中距離]	AIアプリを活用しフォームの分析、レペティション、インターバル、1500mタイム測定	9					
	6	球技 ゴール型 [バスケットボール]	パス練習、ドリブル練習、シュート練習、試合	12					
	7	球技 ベースボール型 [ソフトボール]	・打撃・捕球・送球などの用具操作 ・走者と連携した打撃による攻撃とその守備 ・ゲーム	9					
2	8	球技 ネット型 [バドミントン] 体育理論	ラケットの持ち方の確認、各ショットの練習、ゲーム	9		○			
	9								
	10	球技 ゴール型 [サッカー]	パス練習、ドリブル練習、シュート練習、試合	12					
	11	球技 ゴール型 [ハンドボール] 体育理論	・パス、シュート、ドリブル等の基礎的なことからゲーム展開 ・自分のシュートフォームをiPadで撮影して改善点を見つける	12					
12	ダンス [ジャズダンス] 保健分野	基本動作の習得、発表	9						
3	1	球技 ネット型 [卓球] 保健分野	ラケットの持ち方の確認、各ショットの練習、ゲーム	9					
	2								
	3	器械運動 [マット、跳び箱] 保健分野	基本的な技の習得	6					

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
保健体育	保健体育	3	中学3年	必修

科目の目標	① 各種の運動の合理的な実践を通して課題を解決することにより運動の楽しさや喜びを味わうと共に、運動技能を高めることが出来るようにし生活を明るく健全にする態度を育てる。② 各種の運動を適切に行うことによって、自己の体の変化に気付き、身体の調子をを整えると共に、体力の向上を図りたくましい心を育てる。③ 運動における競争や協同の経験を通して公正な態度や進んで規則を守り、互いに協力して責任を果たすなどの態度を育てる。また、健康・安全に留意して運動することができる。			
学習内容の概要	<p>単元ごとの目標を明確にし、必要に応じて情報提供をおこなったり、自らインターネットや本で情報を集めたりするなど、健康に対する意識を高められるような授業展開をする。</p> <p>内容は、運動に関する領域及び知識に関する領域で構成されている。運動に関する領域は、「体づくり運動」、「器械運動」、「陸上競技」、「水泳」、「球技」、「武道」及び「ダンス」であり、知識に関する領域は、「体育理論」である。</p>			
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断	技能	知識理解
	運動の楽しさに触れ全力で運動しようとしている。また、自ら進んで運動の楽しさや喜びを体得しようとしている。	運動の特性に応じて、自己やグループの課題の解決を目指し、活動の仕方を考えたり工夫したりしている。また、その結果を適切に振り返っているか。	運動の課題や行い方、戦術を基に運動を行うことが出来、運動の特性に応じた技能やゲームの進め方を身につけている。	運動に関わる心身の動き、運動の行い方や作戦、運動の練習の原則及び生活における運動の取り入れ方や意義に関する基礎的な知識を理解し、身につけ生かしている。
評価の方法	30 %	10 %	30 %	30 %
教科書・教材等	保健体育(大修館)			
授業形態	2クラス合同、男女別			

年間学習計画														
学期	月	題材	学習内容	時数	プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点					
1	4	体づくり運動	・集団・整列 ・体ほぐしの運動 ・体力を高める運動 ・体力テスト	8	○									
	5	球技・ハンドボール	・パス、シュート、ドリブル等の基礎的なことからゲーム展開 ・自分のシュートフォームをiPadで撮影して改善点を見つける。	12										
	6	陸上	(長距離走)リラックスした走り、自分にあったピッチとストライドを見つける。	12										
	7	バレーボール	・パス・アタック・サービス ・対人パスをiPadで撮影して改善点を見つける。 ・スポーツの経済効果を理解し、地元プロチーム「ガイナレ鳥取」の集客力を高める。	12										
2	9	球技・ソフトボール	・打撃・捕球・送球などの用具操作 ・走者と連携した打撃による攻撃とその守備 ・ゲーム	12										
	10	球技・バスケットボール	・パス、シュート、ドリブル等の基礎的なことからゲーム展開 ・チームの攻守をiPadで撮影して改善点を見つける。	12										
	11	球技・バドミントン	ラケットの持ち方の確認、各ショットの練習、ゲーム	8										
	12	卓球	ラケットの持ち方の確認、各ショットの練習、ゲーム	7										
3	1	器械運動	(マット運動)グループで教え合い、技の練習。	12									○	
	2													
	3	バレー(男女合同)	・パス、アタック、サービス練習 ・試合	10										

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
外国語	英語	6	中学3年	必修

科目の目標	英語を通じて言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。 高校レベルの初歩的な英語を読んだり聞いたりして、書き手や話し手の意向を理解できるようにする。また高校レベルの初歩的な英語を用いて自分の考えなどを書いたり話したりすることができるようにする。			
学習内容の概要	上記の目標を達成するために、Online Speaking・多読活動・Online Writing・プレゼン発表などのさまざまな活動を通して英語を聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を定着させる。発展的な問題にも取り組み、英検準2級取得を目指す。			
評価の観点	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力 (話すこと・読むこと・書くこと)	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識・理解
	間違ふことを恐れず積極的に活動に取り組んでいるか。	当該レッスンにおける文法ポイントを含む文を正しく話したり、音読したり、書いたりできるか。	当該レッスンにおける文法のポイントを含む文を正しく聞き取ったり、読み取ったりできるか。	当該レッスンにおける文法のポイントやそこで扱われた語句・表現、発音・強勢・イントネーションについての知識があるか。
評価の方法	小テスト 提出物 授業態度		30%	定期考査 70%
教科書・教材等	New Crown III、New Crown III ワークブック(以上、三省堂) New Treasure English Series Stage2 Second Edition、New Treasure English Series Stage2 Second Edition 文法問題集、New Treasure English Series Stage2 Second Edition Speaking B(以上、Z会) 改訂版 キクタン【Basic】4000(アルク)			
授業形態	習熟度別			

年間学習計画										
学期	月	単元	学習内容	時数	プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点	
1	4	オリエンテーション、多読活動		2				○		
	5	New Crown III Lesson 1-7	受け身形、現在完了、動詞(call、makeなど)+A+B や、It~(for A) to...の形の文、関係代名詞、後置修飾、want+A+to~の文、関節疑問文	58	○			○		
	6									
	7	スピーチ	これまで習った表現を使い、スピーチを行う	8	○					
		New Crown III Let's Read 1,2,3	これまで習った表現が使用された長文を読む	10						
2	8	e-spire、多読活動	Online Writing による英作文訓練(週一)など	2		○		○		
	9	New Treasure Lesson 1-6 New Treasure 文法問題集 Lesson 1-6 Online Speaking Training	助動詞表現、文型、不定詞、接続詞、動名詞、現在完了 Online Speaking Trainingによる英会話練習(週一) Fair Tradeについて学ぶ	88	○	○		○		
	10									
	11									
12										
3	1	多読活動		1	○					
	2	New Treasure Lesson 7-12 New Treasure 文法問題集 Lesson 7-12	受動態、名詞、分詞、関係代名詞、比較、間接疑問文、付加疑問文、感嘆文	65						
	3									

領域	名称	単位数	対象学年	履修形態
総合的な学習の時間	探究基礎Ⅲ	2	中学3年	必修

科目の目標	SDGsについて知り、地域の課題解決を通して世界の課題を解決する力を養う
学習内容の概要	デザイン思考を使って創造的に課題解決を行います。SDGsの目標をもとに課題設定を行い、鳥取の課題を解決します。身近な課題解決がSDGsの目標達成に有効であれば、みなさんの課題解決が世界の課題解決につながるようになります。地域へ飛び出しフィールドワーク等を行い、データを実際に収集することを大切にしましょう。
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・デザイン思考を活用できたか。 ・チームで協力して課題解決できたか。 ・データに基づいた根拠ある課題設定や、データに基づいたテスト(検証)ができたか。 ・世界の課題と地域の課題を関連付けた課題設定ができたか。 ・解決策をプロトタイプとして形にできたか。 ・解決策の提案に対して共感を得ることができたか。 ・設定した課題は解決されたか。
評価の方法	ポートフォリオ 成果物 発表
教科書・教材等	毎回の活動をiPadに記録(ポートフォリオ)していきますのでiPadを忘れないように。
授業形態	一斉

年間学習計画									
学期	月	単元	学習内容	時数	プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点
1	4	オリエンテーション	全体スケジュール、デザイン思考について	6					
	5	大阪京都宿泊研修 【共感】	5/1・2 大阪・京都にて実習(予定)	6	○		○		○
			SDGsのゴールと世界の現状について知る 鳥取の課題について知る マトリクスを作成し課題を発見	4			○	○	
	6	【問題提起】 【創造】	課題解決策の提案	4					○
7	【プロトタイプ作成】 プログラミングCamp	プロトタイプ作成 7/27, 7/28 ハックフォープレイ寺本講師	4 8		○	○			
2	8	【プロトタイプ作成】【テスト】 【フィードバック】校内中間発表 【共感】修正 【問題提起】修正 【創造】修正 【プロトタイプ作成】【テスト】 【フィードバック】校内中間発表	課題解決の実行						
	9		データ分析	8					
	10		ゼミごとに発表	4	○				○
	11		中間発表を経て、不足していた部分を修正 必要があればデータを改めて収集	16					○
3	12	ゼミごとに発表	4	○					
	1	修正	中間発表を経て、不足していた部分を修正 必要があればデータを改めて収集	8				○	
	2	発表準備 青開学会	ポスター作成・発表練習	4					
	3	まとめ		4	○				
				6					

領域	名称	単位数	対象学年	履修形態
道徳	道徳	1	中学3年	必修

科目の目標	道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度などの道徳性を養成すること。特に、道徳的価値、およびそれに基づいた人間としての生き方についての自覚を深化させることで、道徳的実践力を育成すること。			
学習内容の概要	①主として自分自身に関する事、②主として他の人とのかかわりに関する事、③主として自然や崇高なもののかかわりに関する事、④主として集団や社会とのかかわりに関する事について、様々な視点・手法でアプローチする。特に中学3年次は「Diversity & Inclusiveness」の第Ⅲ期として、歴史的な多様性を中心に学習する。			
評価の観点				
評価の方法	数値による評価はしない。			
教科書・教材等	私たちの道徳 中学校			
授業形態	一斉			

年間学習計画									
学期	月	単元	学習内容	時数	プレゼン	外部講師	校外学習	図書	観点
1	4	Social Skill Training Ⅲ	生徒の実態に応じて、個人の能力の伸長および集団の形成をはかる。	2					
	5	Diversity & Inclusiveness Ⅲ	多様な性について理解を深める。自己のアイデンティティを深化させるとともに、一つの要素はその人の一側面ではないことを確認する。	4				○	
	6		拉致問題について理解を深める。アニメ「めぐみ」を視聴、「北朝鮮人権侵害問題啓発週間作文コンクール」に参加する。	4					
	7	Social Skill Training Ⅲ	生徒の実態に応じて、個人の能力の伸長および集団の形成をはかる。	5					
	9								
2	10	Diversity & Inclusiveness Ⅲ	アイヌの人々について理解を深める。それを入口に、世界の先住民族・少数民族のおかれた状況についても学習する。	4					
	11		ハンセン病について理解を深める。鳥取県の「人権学習講師派遣事業」を利用して、講演会を実施する。	4		○		○	
	12		HIVについて理解を深める。偏見をなくすためにも、自分と大切な人をまもるためにも、正確な知識を身につけるとともに、適切な行動ができるようにする。	4					
3	1	Social Skill Training Ⅲ	生徒の実態に応じて、個人の能力の伸長および集団の形成をはかる。	2					
	2	Diversity & Inclusiveness Ⅲ	同和問題について理解を深める。鳥取県の「人権学習講師派遣事業」を利用して、講演会を実施する。	4		○		○	
	3		あいサポート運動について学習する。3年間の学習の成果としてあいサポートバッジを交付する。	2					